

東京庄原格致会会報

第31号

2023年9月

発行人・八谷 英樹
編集人・武廣 巖
印刷所・(株) クレスコアース
コミュニケーションズ

令和四年度

東京庄原格致会

総会・懇親会の報告

好天に恵まれた令和四年度十月二十三日(日)、三年ぶりとなる東京庄原格致会の総会・懇親会が、四ツ谷駅近くの主婦会館プラザエフで開催されました。

コロナ感染が危惧される中での開催には、事務局は随分苦慮しましたが同窓会の絆を保つことの重要性を考え、出来るだけの感染対策を行った上で開催に踏み切りました。

会員参加者は二十二名と例年の半分程度でしたが初参加の方や久しぶりに参加いただいた方もあり、母校の青本校長先生や近畿庄原格致会・徳永会長など来賓の皆さん八名を迎えて絆を強く結ぶ総会・懇親会となりました。

【総会】

総会は、武廣事務局長の司会で



開催挨拶をする八谷会長

始まり、冒頭、亡くなられた方のご冥福を祈って黙とうを捧げました。

次いで八谷会長から次のような挨拶がありました。

① 四十回目となる今総会・懇親会の開催については、コロナの脅威と同窓会の絆の保持の狭間で苦慮したが既に二年間のブランクがあることから開催に踏み切った。

② 会報は五百人余に送ったが、回答をいただいたのは百二十人ほどでさみしい思いと、自分の力不足を感じている。

③ 会の活動は、「コロナに振り回

された一年間」であったが、会報30号を全面カラー版として四ページ増やし、特集記事を掲載できたのは嬉しいことであった。

武廣事務局長からご来賓の方々の紹介があり、来賓を代表して青本校長先生と加藤庄原市企画振興部長(市長代理)から挨拶をいただきました。

(ご来賓の皆様方、敬称略)

庄原格致高等学校 校長 青本眞二
庄原市企画振興部長 加藤武徳

東京広島県人会 名誉会長 大竹美喜

近畿庄原格致会 会長 徳永勝人

庄原実業高校 東京支部 副支部長 新井教亨

世羅高校 東京校友会 会長 吉宮孝治

特別参加

庄原市企画振興部 いちばんぐり課 課長 足羽幸宏

主事 西村陸斗

(庄原市からお越しいただいた4人(青本校長先生、加藤部長、足羽課長及び西村主事)はいずれも格致高校卒業生でした。)

校長先生からは、①三年前に就



(左から、敬称略) 後列: 奥重 木曾 田原 畑原 中田 小池 田中 塚原 武廣 中列: 坂口 新山 大岩 遠藤 田淵 合田 積山 光島 生田 花田 前列: 吉宮 新井 大竹 徳永 八谷 青本 加藤 足羽 西村 室伏

任、現在の生徒数は三百人、②「医療・教職コース」の初の卒業生が誕生、③生徒の100%が部活に加入、

写真・野球・ソフト部などが活躍、④HPで学校の様子を見て欲しい、⑤帰郷の折には学校に是非立ち寄って欲しい等の話を伺いました。



加藤企画振興部長



青本校長先生

加藤部長からは、庄原市の現状について紹介があり、①人口減少を最大重要課題として「庄原ファンクラブ」を結成し十二月頃に募集を始める、②ふるさと納税（企業版・個人とも）への協力依頼がありました。

次いで八谷会長を議長として議事に入り

1 令和三年度の事業報告・決算報告が武廣事務局長から行われました。

2 監査報告が遠藤監事から行われ、拍手で承認されました。

3 役員改選は、現役員の二年間の任期満了に伴うものでした

が立候補する方がなく、八谷現会長に三期目を務めていただくことになりました。副会長以下、他の役員もそのまま留任し、原本政至氏（四十八年卒）を幹事に加えることで承認されました。顧問は会長が推薦することとなっているため（会則第九条）、後刻、会長から委嘱がなされました。（役員名簿は、当会HP「役員名簿」に掲載していますのでご覧ください。）

議事終了後、「庄原市いちばんづくり課（*）の足羽課長・西村主事から庄原市の現状について説明を受けた後、ビデオで現在の庄原市の様子や「芸備線の今昔」を見せてもらい、駅舎や駅前広場が立派に整備されている状況を知ることができました。

最後にふるさと納税に対する協力要請で締めくくられました。

*「やっぱり庄原がいちばんええよのお」と思える「まちづくり」を目的に創設。

以上で総会が終わり、マスクを外し、にこやかに集合写真を撮りました。

【懇親会】

懇親会は、冒頭、乾杯の発声を

お願いした大竹東京広島県人会名誉会長・アフラック創業者の紹介がされ、その中で、県立広島大学（大竹氏は前身の広島農業短期大学卒業）創立100周年を迎えたことを記念して1000万円の寄付をされたことが紹介され大きな拍手に包まれました。

大竹さんの乾杯の発声で懇親会の幕が切れましたが、大竹さんから「今日、自分があるのは妻のおかげ！」と家族への感謝の気持ち述べられ参会者にも家族の大切さを訴えられました。

また、乾杯も杯を三回に分けて空ける方式、一回目は「家族への感謝」で乾杯、二回目は「三年ぶりの総会開催に」、三回目は「参会者の健康を願って」乾杯・杯を空けました。

暫く歓談の後、医師である来賓の近畿庄原格致会徳永会長から体調管理について、庄原実業高校東京支部新井副支部長、世羅高校東京校友会吉宮会長からも祝辞をいただきました。

た。吉宮会長からは十二月二十五日（日）

の高校駅伝は厳しい状況で



大竹東京広島県人会名誉会長

はあるが三連覇がかかっているのので応援をお願いしたいとの話があり、その後再び懇談の輪が広がりました。

食事は各自の席に配されたお弁当。飲み物も各自の要望に応じて席まで運ばれるという徹底したコロナ感染予防のための措置がなされました。

時間が経過するにつれ久しぶりの再会に歓談の輪が広がり希望に応じてグループごとの写真撮影が行われました。

初参加の本曾さん（四十六年卒）の自己紹介や、久しぶりに参加いただいた坂口さん（五十三年卒）の紹介も含め楽しい懇談の時間はあっという間に終宴に向かい、三時十五分頃から校歌斉唱となりました。在学时、吹奏楽部で活躍されていた田淵さん（三十五年卒）、大岩さん（旧姓花好・三十七年卒）のリードで高らかに歌い上げ



吉宮世羅会長



新井実業副支部長



徳永近畿会長

ました。(今回は、歌唱は校歌のみとし、マスクを着用して行いました。)

楽しい団らんの中で三時半の定刻を迎え、最年長(九十歳)の室伏さんの発声で中締めとなりました。

室伏さんは、「校舍消失で記録

が消失したかも知れないが、私は昭和二十四年の第一回県北卓球大会個人戦で単・複優勝した。」と賞状を見せて紹介され(参加者は拍手喝采)、その後、同窓会の益々の発展と参会者の健康を願い、大きな声で万歳三唱をしました。

バックに流れる「今日の日はさようなら(森山良子)」を背に来年の再会を楽しみに、事務局が郷里「食彩館」しようばら ゆめさく



坂口・木曾・田原・畑原・青本校長・武廣



庄原からの来賓、青本校長・加藤部長・足羽課長・西村主事

ら」から取り寄せたお土産(ブランド米「里山の夢」)を手に散会となりました。

(懇親会の写真はHPに多数掲載していますのでご覧ください。)

令和四年度 総会出席者名簿

青本眞二	庄原格致高校校長
加藤武徳	庄原市企画振興部長
徳永勝人	近畿庄原格致会会長
新井教亨	庄原実業高校東京支部副支部長
吉宮孝治	世羅高校東京校友会会長
大竹美喜	東京広島県人会名誉会長
足羽幸宏	庄原市企画振興部いちばんぐり課長
西村陸斗	庄原市企画振興部いちばんぐり課主事
室伏孝一	昭和二年卒
生田八洲紘	昭和三年卒
合田良三	(濁川) 川北
田淵統洋	昭和五年卒
積山弘佳	(口和) 庄原本町
光島勝馬	(比和) 高
八谷英樹	昭和七年卒
遠藤靖夫	(高) 庄原本町
大岩征子(花好)	同
新山千樹	昭和八年卒
小池正之	昭和九年卒
塚原通彦	昭和十年卒
中田 毅	昭和十一年卒
田中文男	昭和十二年卒
花田和教	昭和十三年卒
新宅一三	昭和十四年卒
木曾隆治	昭和十五年卒
奥重秀彦	昭和十六年卒
武廣 巖	昭和十七年卒
田原英樹	昭和十八年卒
畑原裕文	昭和十九年卒
坂口純代(黒田)	昭和二十年卒
氏名の中の()は旧姓	

令和五年度

総会・懇親会のご案内

十月二十二日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催

総会・懇親会を、十月二十二日(日)に開催いたします。母校の校長先生や本部同窓会会長などにも案内状を差し上げております。備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 令和五年十月二十二日(日)

(受付は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間(お開きは一時三十分を予定しております。)

二、会場 主婦会館プラザエフ

(七階 カトレアの間)

所在地 東京都千代田区六番町十五番地

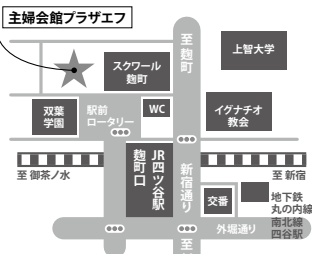
電話 〇三・三二六五・八一

三、会費 八千円

(但し女性並びに同伴の方は六千円)

※年会費(二千元)は、当日受付でも承ります。

総会・会場のご案内



主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町十五番地

TEL. 03-3265-8111

- ・JR「四ッ谷駅」麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線「四ッ谷駅」1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線「四ッ谷駅」3番出口(徒歩3分)

心のオアシス

同窓会を盛り上げよう!



東京庄原格致会
会長 八谷 英樹
(昭和三十五年卒)

昨年の同窓会でお会いしてから早くも一年が過ぎようとしております。コロナが5類感染症に移行された後、マスクを外して行動する方を多く見かけるようになりましたが会員の皆さまにおかれては如何お過ごしでしょうか。私は六回目のワクチン接種を済ませて元気に晴耕雨読の日々を過ごしております。

三年ぶりとなった昨年の総会・懇親会はコロナの影響もあってか参加会員数は22名と例年の半分以下となりました。中でも庄原市いちばんぐり課の皆さんが市の現状と「芸備線の今昔」をビデオで紹介していただき盛り上げていただきました。有難うございました。

昨年の会報第三十号記念号発行に当たっては多くの皆様方から浄

財のご寄付をいただき無事に発行することができました。あらためて厚く御礼申し上げます。特集記事について昭和二十五年の母校西庁舎の焼失が記載漏れとなるなどいくつかの間違いがありました。お詫び申し上げますとともにご指摘いただいた方には改めて御礼申し上げます。

今後とも会報へのご意見・ご注文、また同窓会活動に対するご注文などを同封しております返信ハガキに記入していただくかホームページの「皆様のご意見」に投稿していただきお聞かせください。これからの活動に多いに参考にさせていただきます。

母校ではこの春の人事異動で青本眞二校長先生、橋本敦盛教頭先生が退職・転校され後任に畦知克利先生、高林賢治先生を迎えております。

青本校長先生にはご在任の三年間はコロナの影響で総会開催が来ず、昨年の総会でやっと出席が叶い皆様と親しく歓談いただきました。お二人方には母校・後輩たちのためにご尽力いただいたことに厚く御礼申し上げます。

畦知校長先生、高林教頭先生に

おかれましても東京庄原格致会も宜しくお願い申し上げます。

昨秋以来、近畿庄原格致会、世羅高校東京校友会、実業高校東京支部の同窓会に、また西城町出身者で構成されている「東京西城会」に出席しましたが、いずれの会も我ら同様に会員の高齢化・減少に頭を悩ましていました。同窓会が青春の思い出を語り合う「心のオアシス」となり、故郷を同じくする会員の出会いの場となることを切望しております。一人でも多くの皆様方が仲間を誘い合って総会・懇親会にご参加いただきますようお願い致します。今年の総会・懇親会は十月二十二日です。

嬉しいことに今年はサンフレッチェの活躍に加え、カープも評論家の事前の予想を裏切って大いに奮闘し、苦手であった交流戦を無難に乗り切り、Aクラスを維持しています。抑えの栗林投手が完全復帰してくれば〇〇も夢ではないかと思っております。総会当日に高らかに応援歌を歌い健闘を祝せることを願っております。

コロナは5類に移行されたとはいえ依然として油断を許さぬ状況に変わりはないようです。互いに細心の注意を怠らず、平均寿命で

はなく健康寿命を延ばすように頑張りました。

(六月末記)

「格物致知」の 継承を目指して



広島県立
庄原格致高等学校
校長 畦知 克利

(略歴) 昭和61年…世羅高校卒、平成2年…広島大学教育学部卒、令和2年…三次高校教頭、令和3年…瀬戸田高校校長、令和5年…現職

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に御支援を賜り、感謝申し上げます。令和5年4月より本校に赴任しました校長の畦知(あぜち)克利と申します。少し変わった名前なのですが、世羅郡の出身で、県北では以前に三次高校や三次青陵高校に勤務しており、この庄原格致高校で勉強や部活動に頑張る生徒、熱心に指導を行う教職員の姿を目の当たりにし、庄原格致高校の良さや伝統を継承し、さらに新たな時代に対応していける教育内容をつくっていったらと考えております。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症での感染者数は拡大したものの、その対応に社会全体が新たな動きを見せていく中で、本校も新入生歓迎遠足、格致祭文化の部、格致祭体育の部、球技大会、修学旅行、ロードレース大会とすべての行事を工夫しながら実施をしました。修学旅行も東京・千葉・神奈川という関東方面への充実した内容でやり切り、卒業証書授与式では3年ぶりに来賓の方々を会場にお招きして実施することができ、本来の高校生活に戻ってきたという感があります。今年度も2年生の修学旅行は10月17日(火)から20日(金)の日程で関東方面に予定しており、もしかすると現役の生徒たちの制服姿を都内で目の当たりにしていただけるようなことがあるかもしれません。

さて、部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒たちですが、令和4年度の第3学年生徒は進路面でも頑張りをを見せてくれており、本校の教育活動の成果の指標の1つとして設定している広島大学や県立広島大学など国公立大学合格者数が、難関大学である大阪大学を始めとして29名(現役28名、過年度1名)と令和3年度の

30名（現役29名、過年度1名）に迫る数字となり、2年連続で大学を目指した生徒の3人に1人は国公立大学へ合格しているという実績を出すことができました。この数字の背景には、大学入学共通テストの多教科（5教科以上）受験への取組という生徒の頑張りと保護者の皆様の支えがあることはもちろんですが、同窓会をはじめ地元自治体である庄原市からの支援による河合塾の出張講義の実施や、本校職員の授業の質を高める努力と丁寧な指導が少しずつ実を結んできたもの思っております。改めて関係者の皆様に感謝申し上げます。

さて、令和5年度が始まり、4月7日に行われた入学式では普通科・医療・教職コース合計103名の新入生を迎えております。新入生の希望に溢れる姿を見て、その可能性を大切に成長させていくため日々の教育活動を行っており、現在も格致祭文化の部に向けた各クラスでの合唱練習の歌声が聞こえております。これからも庄原格致高校は、自由でのびのびとした雰囲気を守り、勉強と学校行事、部活動を大切にしていきます。教育目標である「『格物致知』を実

践し、高い知性と豊かな感性を持ち、進んで地域や社会に貢献できる生徒を育成する」を目指して、昨年度から取り組んでいる「STEAM教育」を始めとした、実社会での課題発見・解決に資する能力の教育内容づくりへの取組を総合的な探究の時間や「社会貢献演習」「医療・教職演習」を核として教科横断的な内容で着実に実施してまいります。

生徒の社会性や主体性を育てるため、ホームルーム活動での協働性や協調性を高める活動の取り入れや、ボランティア同好会や医療・教職コースの生徒を中心に、休日に小学生教室を実施し、小学生の体力や学習への興味の育成といった活動に参加する機会を増やすなど、地域が必要とされる活動を生徒たちが考えて実行する取組も継続してまいります。簡単な取組ではありませんが、庄原格致高校として生徒をしっかり伸ばす学校、生徒が成長する、伸びる学校を目指して、学校一体で全力を尽くし、前進していきたいと考えております。今後とも御支援をお願いいたします。

（六月末記）

ご挨拶



広島県立
庄原格致高校同窓会
会長 藤光 有

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年は会報創刊30年の節目を迎えられ記念特集号を発刊される等、コロナ禍にあっても会勢の充実を図られていく様子が伺われ、同慶の至りに存じています。また、日頃は同窓会活動に格別のご支援並びにご協力を頂き深謝いたしますとともに、厚くお礼申し上げます。

母校の近況ですが、今年の春、青本眞二校長先生の退任がありました。新型コロナウイルス感染症の拡大により各種制限のある中、大きな教育成果を残されました。母校の卒業生でもある青本元校長先生は、母校への恩返しの一環として、先生は、母校の伝統を守り生徒の主体性を重視した人間関係形成能力の醸成」そして「楽しい学校生活と庄原格致高校に誇りを持つる生徒の育成」を学校運営の重要目標として頑張っており、感

謝申し上げます。後任には世羅町出身の畦知克利校長先生が就任されました。

庄原格致高校のさらなる飛躍を期待申し上げます。

さて、庄原市を含む県北で観光入り込み客拡大が期待されています。先日、先進7か国首脳会議（G7 広島サミット）が広島市で開催されました。今回の会議にはグローバルサウスからの参加、韓国の参加、ゼレンスキー大統領の参加等、いつもとは違ったメンバーでしたが核軍縮そして戦争のない世界を望むばかりであります。

この会議開催中、各国首脳やその配偶者が囲んだ食卓に県北の特産である庄原市の比婆牛、三次市のワインが夕食のメニューに提供されました。また、昼食のプログラムにも高野リンゴジュースが飲み物として名を連ねました。これらの特産品に関係された多くの方々の努力が報われたものと思います。今後この余波が庄原市をはじめ県北地域に拡大することを期待しているところであります。

終りになりますが、コロナウイルス感染症の感染リスクが5類に引き下げられました。



木曾 隆治
(昭和四十六年卒)

会員だより

引き続き感染予防に務めることが求められますが、同窓会重要行事の定例総会及び懇親会を来る11月4日(土)、リニユーアルオーブンした「ラ・フォーレ庄原」(旧かんぼの郷庄原)で開催を予定しています。ご都合のよろしい方は是非おいでください。

東京庄原格致会が八谷会長を中心にますます充実、発展されますように、また東京庄原格致会の皆様方に今後も同窓会活動に一層のご理解を頂き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。これから酷暑の季節を迎えます。ご健康には十分留意され更なるご活躍を頂きますことを祈念してご挨拶いたします。

(令和5年6月7日記)

昨年の総会・懇親会に初めて参加しました昭和四十六年卒木曾です。私は現在埼玉県の北部本庄市に住み毎日、利根川(坂東大橋)を渡り群馬県伊勢崎市の工場に通っています。庄原市本町西浦出身で庄原中学では東京オリンピック部の東洋の魔女の影響でバレー部に入りました。格致高校に進学してからもバレー部に入りました。修学旅行は九州でした。地震で倒壊する前の熊本城や青の洞門を見学し別府杉乃井ホテルに着いた時偶然にもロビーでてんぶくトリオの三波伸介や伊東四朗に会いビックリしたこと、また帰りは今は無い広別汽船のフェリー阿蘇の二等客船で一夜明かしたのも懐かしい思い出です。広島修道大学を卒業し広島で現在の会社に入社して四十八年目となりますがまだ現役で頑張っています。転勤でシンガポールに六年赴任した後平成五年から埼玉に住んでいます。会社は住宅の防壁土台等を製造しその技術を利用し製造・建設した備北丘陵公園の「はなの展台」等のリニユーアル工事を昨年・今年と行っていますので帰省の際には是非立ち寄ってみて下さい。今年の一月で古希(昭和二十八年巳年生)

を迎えました。四月一日に辰年生まれの友と先生加え同級生五十二名で庄原中学辰巳会が庄原グランドホテルで開催され僭越ながら私の詩吟が始まりました。皆さん芸達者の方が多く琴の演奏、日本舞踊、ピアノとサククスやギター・歌のセッションと多彩な催しと名司会に乗って多に楽しめました。二次会の後桜が満開の上野公園まで皆で歩いて行き夜遅くまで歓談しました。

私生活の方では五十歳になる時に詩吟教室を開いておられる広島出身の会社の上司の方から「詩吟」をやらないかと勧められたのがきっかけで定年後趣味が何も無いのも退屈だしとの思いもあり始めました。詩吟の教師免許取得の勉強していた最後の年に大阪に単身赴任となり埼玉まで稽古に通ったことも懐かしい思い出です。六十四歳の時に師範「隆風」を無事襲名しました。その後、明治座や浅草公会堂での会派「吟道館」の発表会や昨年はコロナ禍で三年ぶりに開催されたヴォックス音楽吟詠会の群馬地区大会で優勝した勢いで名古屋で開催された全国大会で初めて全国大会優勝の栄誉を勝ち取ることができたことも嬉し



平成 29 年 4 月 13 日 (2017.4.13)
吟道館流 師範「木曾隆風」襲名



全国大会優勝 令和4 年9月25日名古屋(木曾さん、左から2 番目)



「風月同天 重陽話詩」オンライン日中詩吟交流大会
令和 4 年 10 月 14 日(木曾さん、右端)
詩吟「静夜思」主会場：中国・馬鞍山 分会场：群馬・伊勢崎



庄原中学校辰巳会 古希同窓会
(昭和 43 年度卒業)
詩吟：古希を祝う 吟詠：木曾隆風

い思い出です。また、令和四年には中国・馬鞍山とオンラインで結んだ日中詩吟交流会に参加したり吟友との旅行や発表会の後の懇親会も楽しく今後も続けていきたいと思っています。

「今年もカープ」の前に思い出ひとつ



本間ますみ
(昭和四十九年卒)
(三次市出身の梵英心選手)

いよいよ開幕(今日は3月31日)。東京は桜も散り始めましたが、やっぱりプロ野球が始まらないと春は来ません。いつものことだけど、カープ観戦のない冬の間、何をして過ごしていたのか思い出せない。勝っても負けてもカープを応援せんと一日が終わらん。今日から今年のその楽しみが始まります。

ところで、今日は選抜高校野球の準決勝で広陵が9回に来てええーッと驚くような点の取られ方で負けた。報徳と決勝戦するはずじゃったのに。

それで思い出した：高校野球です。私が高校3年生になる春(なんと50年前)の選抜、広商が準決勝で、あの60奪三振の江川投手率いる作新学院を破って決勝進出を決めました。そのとき広商のキャプテンはサード金光興二(私の熱

烈推し)、バッテリーは佃正樹と、後のカープ監督にもなる達川光男でした。

決勝戦は雨で延期が続き春休みも終わり、学校は始業式の日。私たち3年3組の担任だった原田先生が、新3年生1日目のHRで委員とか係とか全然決まらず業を煮やして「はあ帰ろうで。広商を見にやあいけんじゃろうが」と打ち切ったことを覚えています。みんな大慌てでそそくさと帰りまし

た。ちなみにその日の決勝戦で広商は勝てませんでした。その年の夏の甲子園では優勝したのです。そして秋に広商が県予選で競った庄原実業に凱旋試合に来て、私たち格致高校の生徒もこぞって観戦に行きました。吹奏楽部がマーチを吹いて友情応援。にわか応援席は満席。もちろん私も(金光くんを見に)。

試合が終わって(さすが全国優勝の広商は県大会より数倍強くなっていた！実業はコールド負け)塩町から汽車通の友達に付いて庄原駅まで行ったら、広島に帰る広商の選手たちがホームにはみ出していました。庄原駅があんだけごった返したのは後にも先にも

あの日ただ一回じゃなかるうか。

私は金光くんと並んでちゃっかり写真とってもらって嬉しかったな！卒業アルバムのつぶやきコーナーに「金光♡ますみ」の相合傘を書いてある。

さて話戻って、プロ野球。今年は新生カープです。WBCに隠れていたけどオープン戦、気付いて見ればカープは最下位じゃないか。え？どうする新井さん。

開幕投手は今年も大瀬良、大丈夫か。カープの歴代投手で大瀬良は、安仁屋から長谷川・外木場・北別府・佐々岡：のように三文字名で出世投手なんじゃげな。どうかね。さあさあ今シーズンが始まるよ！頑張れカープ。



広商の金光君と私

母校だより

庄原格致高校 教頭
高林 賢治

同窓会の会員の皆様には、日頃より本校の教育活動、また在校生に対し、多大なるご支援をいただきまして感謝しております。ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症も5類とされ、学校も徐々に平常に戻りつつあります。昨年度も、コロナ下で遠足、格致祭(文化の部、体育の部)、球技大会、修学旅行とすべての学校行事を行ってまいりましたが、今年度は、感染症対策を講じながらも、活動を活性化しております。ここまで、支えてくださった地域、保護者、生徒、関係者の皆様には重ねて感謝申し上げます。

明治30年に小田源吉先生が庄原の若い世代に教育の場を提供することを目的として創立された本校は、建学の精神を失うことなく、県北の人材育成の中心的な役割を果たすべ



く、努力しております。

教職員は寄宿舎職員を含めて54名、うち、19名が20代の若者です。クラス数は、全日制普通科、医療・教職コース合わせて各学年3クラス、計9クラスで、うち6クラスを20代の担任を配置し、これをベテランが支える若さ溢れる布陣で臨んでおります。1年生103名、2年生91名、3年生103名の生徒に対し、一人ひとりに寄り添う個別最適な学びの実現を目指して日々努力しております。

令和3年度に3学年そろった「医療・教職コース」は、医師、看護師をはじめとする医療従事者や、小学校、中学校などの教員を目指す生徒を育成するコースです。コロナ下では、厳重な対策を必要とする病院、学校で直接研修を実施することができませんでしたが、今年度から、庄原赤十字病



院をはじめとする医療機関、庄原市教育委員会を中心とした学校関係に協力を得ながら、カリキュラムの充実を図っているところですよ。フイランソロピー同好会というボランティアの同好会は、年間20回以上の小学生教室を実施しており、「医療・教職コース」の生徒が積極的に参加し、小学生と触れ合っています。

令和4年度から高等学校では新しい学習指導要領となりました。今回の学習指導要領は主体的で協働的な深い学び、を促す学習活動求めています。授業でP Cを使って調査をしたり、考えをま

とめたりしたもの、教員が教材として活用するなど、生徒自身が考えを深められるような工夫をしています。

また、言語活動を充実させるために、英語科では、「モジュール・ボンジュール」という活動を全学年で実施しています。すべての学年で一斉にリスニングを行い、確認のテストを行っています。

令和4年度の国公立大学への合格者数は29名であり現状維持、重点的に分析しているターゲット大学への合格者20名で一昨年から倍増しています。現代の受験では情報が重要ですから、進路指導部もスタディサプリや模擬試験などを丹念に分析して指導を行っています。

部活動は、13の運動部、6つの文化部、3つの同好会が活動しています。コロナ下でもしっかりと活動してきたため、今年度もたくさんのお新入部員が入部してくれました。ほとんどの生徒が何らかの部活動に加入しており、運動部と文化部を兼部して、さらに青春を



どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン & エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 **八王子装建**

代表取締役 **西谷 光徳** (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL: <http://www.h-soken.com/> E-mail: nisitani@h-soken.com

中田税務会計事務所

税理士

中田 毅

昭和39年卒

埼玉県狭山市下奥富737-5

TEL.FAX. 0429-53-9240



謳歌しているものも多くみられます。部活動は、火曜日を休みとして、6時完全下校、大会前には延長練習

が認められます。文武両道でメリハリのある部活動を展開しています。運動部では卓球部女子団体、ダブルスが高校総体中国大会に挑み、写真部が全国高等学校総合文化祭に出品しています。

このほか、学校行事では格致祭文化の部を2日間開催になりました。1日目は非公開で合唱、演劇のクラス対抗のコンペティション、軽音楽部、吹奏楽部のパフォーマンス、教員による合唱もありました。2日目は一般公開で焼きそばやからあげなどの食品屋台、迷路やお化け屋敷などのクラス展示、茶道部や家庭クラブ、写真部の展示が行われました。今年は、「敦盛さん保存会」が庄原の伝統文化を高校生に伝えるために、展示に参加してくれました。

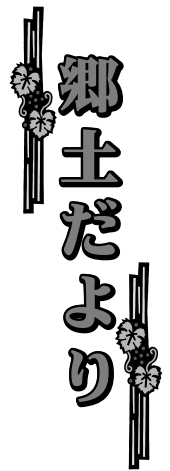
令和5年度生徒会長に石田さんが当選しました。「一致改新」というスローガンを立て、生徒の心

を一つにしてよりよい格致をつくっていくという所信表明を行っています。5月に新体制で実施された生徒総会では、資料は各自のもつPCを参照して議決に臨んでいます。

人口が減少し、世界が混乱するなど、これまでの価値が変容する現代において、広い視野、新たな価値の創造力を付けることが教育にも求められるようになりました。このような社会に対応するために、本校ではデジタル・シティズンシップ教育、STEAM教育、課題発見・解決型学習等、広島県の研究指定校として新たな教育に果敢に挑戦しています。もちろん、同窓生の皆様が大切にしてこられた、真理を探究する格物致知の魂も忘れずに生徒たちに伝えてまいります。



これからも同窓生の皆様のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「庄原市の推し活はじめませんか？」

～関係人口の創出に向けた

取り組み～

庄原市企画振興部いちばんづくり課 課長

足羽幸宏
(平成元年卒)

校歌にあります「仰げば遠き比婆山の…」比婆の山々が新緑に染まる季節を迎え、東京庄原格致会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より庄原市に対し熱いエールをいただいておりますとともに、昨年10月の総会では、我々に市のPRの機会をいただき、心より感謝申し上げます。また、この度は会報への記事掲載のチャンスをいただき誠にありがとうございます。このご厚意に甘え、庄原市が令和4年度から特に注力しております「関係人口の創出」に向けた取り組みにつ



二階堂調剤薬局
グループ

二階堂調剤薬局
二階堂調剤薬局ときわ台店
まへの薬局北口店
まへの薬局おおたかの森店

代表取締役 薬剤師

石井 美佐子

(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21

TEL 03-3958-9955

いてPRさせていただきます。

庄原市における「関係人口の創出」の取り組みにつきましては、人口減少・少子高齢化が進む厳しい状況においても、活力ある地域づくりを進めて行くため、まずは「ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」による庄原市への応援を呼びかける取り組みを強化いたしました。具体的には県人会や東京・近畿庄原格致会でのPRや企業訪問に加え、「比婆牛」商品の多様化、庄原産豚肉「瀬戸もみじ豚」ラフティング体験、古民家ステイズの宿泊券等を追加するなど返礼品の充実を図っております。（※取り組みの結果は資料1・資料2をご参照ください。）

そして、関係人口創出のメイン事業として取り組んでいるのが、「庄原ファンクラブ」です。ファンクラブ活動により、庄原を「知ってもらい、来てもらい、選んでもらう」流れをつくり、交流人口の拡大・関係人口の創出、さらには、移住定住へとつなげることを目的に、令和5年3月から会員募集を開始いたしました。

ファンクラブの入会費・年会費は無料で、18歳以上の方であれば、どなたでも入会いただけます。

会いただきますと、会員証を発行するほか、庄原の旬の情報や特産品が当たる抽選会のご案内など、お得な情報を定期的にお知らせいたします。また、令和5年度では会員交流イベントを庄原市・広島市・首都圏で開催し、会員相互の交流を深めていただく機会を設けることとしております。

5月8日現在で、1,020人に入会をいただいております。庄原ファンの輪が広がりとつあると実感しています。是非とも、東京庄原格致会の皆様にもご入会いただくとともに、ご家族・友人の方にも入会を呼び掛けていただき、ふるさと庄原を全国に広めていただきますようお願いいたします。

※首都圏での庄原ファンクラブ会員の交流イベントを開催する予定です。（2月予定）詳細が決定しましたらご案内しますので、是非この機会にファンクラブへご入会ください。

■ 庄原ファンクラブ
入会登録フォーム



■ 庄原ファンクラブ
Instagram



ふるさと納税ポータルサイト

■ さとふる

■ ふるさとチョイス

■ 楽天ふるさと納税



■資料1 ふるさと納税の取り組み結果

年度	令和3年度	令和4年度	比較
寄附件数	1,237 件	1,680 件	+ 443 件
寄附金額	30,686 千円	38,516 千円	+ 7,830 千円
返礼品目	99 品目	160 品目	+ 61 品目



気軽に寄附いただくため比較的安価な価格の返礼品として追加した比婆牛 A4 ～ 5 ランク焼肉バラ 600 g（寄附額 18,000 円）



食彩館しょうばら

ゆめすくら



庄原のお土産は、
「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！
贈答用には庄原のブランド牛「比婆牛」が人気です！！

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1

TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422

〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま

代表取締役 奥井 智裕（昭和 57 年卒）

森と桜と
庄原さくら温泉。
丘の上の温泉ホテル

サウナと外気浴コーナーが人気です。

運営会社（株）サンヒルズ庄原
社長安部隆弘（昭和 63 年卒）



桜花の郷
ラ・フォーレ庄原
La Foret Shobara

ご予約・お問合せは

☎(0824)

73-1800

〒727-0004 広島県庄原市新庄町5281-1 FAX 0824-73-0100





令和5年3月25日に広島市内で開催したファンクラブ会員交流イベントの様子

■ 資料2 企業版ふるさと納税の取り組み結果

年度	令和3年度	令和4年度	比較
件数	3件	6件	+3件
金額	13,300千円	13,600千円	+600千円

■ 寄附金の活用状況（※公表に同意いただいた企業様のみ）

企業名	株式会社 まるごと食品（島根県江津市）
寄附活用内容	庄原ファンクラブの設立による関係人口の創出
企業名	株式会社 ウェストエネルギーソリューション（広島市西区）
寄附活用内容	低炭素化社会の実現及び防災体制の充実を図るため PHEV 車を導入
企業名	ヤマモトロックマシナ株式会社（東京都千代田区）
寄附活用内容	市立図書館東城分館の蔵書の充実



ゴルフ同好会及びバス旅行は、具体的な計画はこれからという状態ですが、囲碁同好会のメンバーはコロナに負けることなく昨年9月以降、毎月第二日曜日に新宿囲碁サロン「喜楽」で例会を開催し、体調不良のために長期休会中の2人を除く13人の会員が毎月10人ほど集い研鑽しています。

庄原の歴史

「山ノ内」物語

赤川 仁洋（昭和五十一年卒）



庄原市中央本町で「どら書房」を経営、本と地域の情報誌「県北どらくろあ」を毎月発行

芸備線の駅に「山ノ内」駅がある。地名の表示は「山内」で、「やまのうち」と読む。この地名の由来は、神奈川県鎌倉市北部の「山ノ内」とあるという。平安時代に山内荘という荘園を開発支配していたのが、山内首藤（やまのうちにすどう）氏とい

う武士集団で、山内は地名、首藤は先祖の藤原氏に由来するといわれている。その山内首藤氏が庄原の地に移住して来たので、山内という地名が誕生した。

この山内首藤氏、昨年のNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する。俳優の山口馬木也さん演ずる山内首藤経俊（つねとし）である。タイトル中の「鎌倉殿」は鎌倉幕府の二代執権となった北条義時、「13人」は頼朝死後の集団指導体制である「十三人の合議制」を指している。残念ながら、経俊はこの十三人の中には入っていない。

この経俊、どうも悪名の方が勝っているようで、鎌倉時代に成立した歴史書「吾妻鏡」によると、源平合戦で挙兵した源頼朝が経俊に助勢を求めたところ、その使者を罵倒して援軍を拒み、平家軍の一員として頼朝と戦っているのだ。経俊の母親が頼朝の乳母を務めていて、頼朝とは乳兄弟の間柄である経俊が、主家を裏切つて弓を引いたのだから印象は悪い。

源平合戦は源氏の勝利に終り、経俊も捕らえられいたんは斬首が決定するが、頼朝の乳母である経俊の母の歎願もあって助命されたが、山ノ内の地を離れることになる。それから紆余曲折があつて、山内首藤氏は備

後国地毗庄（現広島県庄原市）の地頭として移住する。居城であった甲山城址や、菩提寺であった円通寺が今でも残っている。

円通寺にはある伝説がある。本堂の天井に、雪舟作と伝承される龍の絵がある。描き終えた雪舟が石見に旅立つと、その夜から麓の村里へ龍が水を呑みに現れて村人を恐れさせた。たまりかねた住職は、雪舟が帰るのを待つてその由を知らせると、肯いた雪舟は直ちに本の釘を龍の目に打ち込んだ。するとその夜から、龍が麓の村に現れることはなかったという。

備後山内家はその後、関ヶ原の合戦で、毛利軍の一員として参戦、豊臣方の敗北により毛利家は長州に滅封になるが、山内氏も従行して萩へと移っている。最高家格の寄組として藩政の枢機に預かった。

現在、山内という名前前で連想されるのは、内助の功で有名な土佐藩主山内 豊（やまのうちにかずとよ）だが、山内首藤家の庶流の出であるという



資料がある。「山ノ内」という名前だけで、これだけの物語が堪能できるのだから、やはり歴史はおもしろい。

令和 4 年度東京庄原格致会会計報告

(自令和 4 年 7 月 1 日～至令和 5 年 6 月 30 日)

一般会計収支報告書

(単位: 円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	278,138	会報作成費・発送費	400,990
年会費	222,000	幹事会経費	610
広告収入	60,000	総会・懇親会経費	255,794
寄付	189,000	他同窓会出席経費	55,000
お祝い金	70,000	HP関係経費	37,180
懇親会会費	196,000	当座管理費 (振込手数料)	16,838
受取利息 (一般)	1	通信費等事務費	10,000
		次期繰越金	238,727
合 計	1,015,139	合 計	1,015,139

基金会計収支報告書 (自令和 4 年 7 月 1 日～至令和 5 年 6 月 30 日) (単位: 円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	258,116	次期繰越金	305,118
寄付	47,000		
受取利息 (基金)	2		
合 計	305,118	合 計	305,118

財産目録 (令和 5 年 6 月 30 日現在)

(一般勘定)	
郵便局 振込口座 (年会費振込口座)	50,042 円
〃 一般口座 (一般口座)	188,685 円
合 計	238,727 円
(基金勘定)	
郵便局口座	305,118 円
合 計	305,118 円
総 合 計	543,845 円

左記のとおり報告致します。
令和 5 年 7 月 10 日
東京庄原格致会
会 長 八谷英樹
監 事 遠藤靖夫
監 事 塚原通彦
事務局長 (会計) 武廣 巖

東京庄原格致会役員名簿 (令和四年十月二十三日)

顧問 室伏 孝一 (昭和二十五年卒)	事務局長 武廣 巖 (昭和四八年卒)
兼利 卓蔵 (昭和二八年卒)	副事務局長 奥重 秀彦 (昭和四七年卒)
飛谷 安宣 (昭和三二年卒)	西川 進 (昭和四八年卒)
生田 八洲 (昭和三三年卒)	幹事 大岩 征子 (昭和三七年卒)
合田 良三 (昭和三三年卒)	中池 正之 (昭和三八年卒)
迫田 芳徳 (昭和三四年卒)	田中 毅 (昭和三九年卒)
田淵 統洋 (昭和三五年卒)	田中 文男 (昭和四〇年卒)
積山 弘佳 (昭和三五年卒)	若山 博文 (昭和四一年卒)
光島 勝馬 (昭和三五年卒)	新宅 二三 (昭和四二年卒)
会長 八谷 英樹 (昭和三五年卒)	吉田 玲児 (昭和四七年卒)
副会長 渡邊 千草 (昭和三八年卒)	花田 和教 (昭和四〇年卒)
幹事 花田 和教 (昭和四〇年卒)	原 裕文 (昭和四八年卒)
助政 千尋 (昭和四〇年卒)	矢吹 文伸 (昭和四八年卒)
副幹事長 石井美佐子 (昭和四八年卒)	遠藤 靖夫 (昭和三七年卒)
	塚原 通彦 (昭和三八年卒)

ご逝去のお知らせ
令和 4 年度に事務局で把握した
ご逝去された会員の方です。

中林 弘 様	昭和 20 年卒
森田 稔 様	昭和 22 年卒
新見 義明 様	昭和 23 年卒
田中 茂樹 様	昭和 26 年卒
稲田 光明 様	昭和 27 年卒
宮田 靖 様	昭和 29 年卒
梅木 隆史 様	昭和 29 年卒
小早川 英之 様	昭和 30 年卒
今井 泰子 様	昭和 35 年卒
吉岡 公義 様	昭和 35 年卒
児玉 伸昭 様	昭和 38 年卒
岡本 光慈 様	昭和 51 年卒

謹んでお悔やみを申し上げます。

編集後記

昨年の会報 (三十号・記念号) は、全面カラーで四ページ増やして発行しましたが、多方面から好評をいただきました。皆様のご協力に感謝します。

今年の会報には、三年ぶりに開催できた総会・懇親会の様子を載せています。今年はずっと多くの皆様にお会いできることを楽しみにしています。

校長先生と教頭先生の異動がありました。後輩の指導をよろしく願います。

会員だよりは、木曾さん (四十六年卒) と本間さん (四十九年卒) に書いていただきました。木曾さんは詩吟で活躍されており、本間さんは元祖カープ女子です。

庄原市の「ふるさと納税」や「庄原フアンクラブ」などについて載せています。私も故郷庄原との絆を強めたいと思い、早速庄原フアンクラブに入会しました。皆さんも如何ですか。

「山ノ内」の歴史について、赤川さん (五十一 年卒) に書いていただきましたが、興味深い内容となっています。

八月初旬に庄原に帰省した際、娘夫婦が幸運にも芸備線のカープ号に乗ることができ、三次駅で記念写真を撮って見せてくれました。今年のカープは、前評判は最悪でしたが、開幕してみるとなんと上位で頑張っているではないですか。連敗もありますが、新井監督の選手起用やコメントからは選手に対する愛が感じられます。最後まで楽しませてもらいたいと思います。チームメイトは家族、家族愛で頑張れカープ! (事務局)

年会費の納入のお願い!

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。
御一人二千元をお願いしております。
お送りしています振替用紙で入金いただきますよう、よろしく願います。
ご寄付につきましても同用紙でお願いします。

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージを UP させる
販促品をご提案いたします。



株式会社クレスコアースコミュニケーションズ
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 2-2-5 CTN ビル 7F
TEL.03-5207-5189
www.cresco-ars.co.jp

「ご寄付ありがとうございました。」

この一年、次の方々からご寄付いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

大竹美喜 様	岡崎千鶴子 様 (38年卒)
(東京広島県人会会長)	平川智子 様 (38年卒)
木村智幸 様 (25年卒)	渡邊千草 様 (38年卒)
藤本哲治 様 (26年卒)	中田毅 様 (39年卒)
三浦重造 様 (28年卒)	渡辺康子 様 (39年卒)
兼利卓蔵 様 (30年卒)	助政千尋 様 (40年卒)
恵木弘 様 (31年卒)	瀬尾明雄 様 (40年卒)
林義之 様 (32年卒)	田中文男 様 (40年卒)
岩見勝義 様 (32年卒)	花田和教 様 (40年卒)
宮内伸子 様 (32年卒)	平田タツ子 様 (40年卒)
生田八洲 様 (33年卒)	小川哲二 様 (41年卒)
太原アヤ子 様 (33年卒)	守長和子 様 (41年卒)
香川邦生 様 (34年卒)	若山博文 様 (42年卒)
迫田芳徳 様 (34年卒)	新宅二三 様 (43年卒)
大竹純子 様 (35年卒)	佐々木和之 様 (45年卒)
田淵統洋 様 (35年卒)	福場泰蔵 様 (45年卒)
積山弘佳 様 (35年卒)	福場美知留 様 (45年卒)
八谷英樹 様 (35年卒)	木曾隆治 様 (46年卒)
光島勝馬 様 (35年卒)	本間ますみ 様 (49年卒)
遠藤靖夫 様 (37年卒)	道下智 様 (50年卒)
加藤勝 様 (37年卒)	林家ひろ木 様 (平10年卒)
新山千樫 様 (37年卒)	